

令和8年度「言語文化」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
言語文化		必修	2	共通
教科書 副教材等	改訂版 高等学校 言語文化 新明説総合古典文法（および準拠ノート）核心を学ぶベストスタイル古文単語 351 基礎から解釈へ 漢文必携 五訂版（およびチェックノート）			

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習概要

文化としての日本語、また、日本語を実際の生活で使用することによって形成されてきた文化的な生活、さらに、古代から現代までの各時代にわたって、表現し、受容されてきた多様な日本語の芸術や芸能などを学んでいきます。小説・詩・短歌俳句・古文・漢文等の文学や、古典に分類される分野を総合的に学ぶことになります。

3 学習方法

(1) 授業への取組

授業は、教材について読み考え記述し、そして発表する場です。教師が板書することをノートに書き写すだけでは意味がありません。生徒の皆さん一人一人が積極的に参加することが期待されています。

(2) 家庭学習

授業で扱う文学教材については事前に通読し、読めない漢字や意味の分からない語句については辞書で調べておきましょう。事前に通読するのとしなないのでは、理解に大きな差が生まれます。また、古文教材や漢文教材については、地道な予習が必要です。古語辞典や漢和辞典を調べることに慣れ、文法的知識を身に付け、きちんと解釈する力を付けましょう。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能(①)」、「思考・判断・表現(②)」、「主体的に学習に取り組む態度(③)」の3観点で評価を行います。

具体的な評価方法は以下の通りです。

- ・定期考査(中間・期末考査、学力テスト)……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能(①)	思考・判断・表現(②)	主体的に学習に取り組む態度(③)
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や、深く共感し豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めようとしている。	言葉を通して他者と関わり、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい（内容のまとめりと）	考查等
一 学 期	【古文の世界を楽しむ】 ・ 児のそら寝 ・ なよ竹のかぐや姫 【日本語の中に生きる漢文】 ・ 入門一 訓読の基礎 ・ 入門二 再読文字・助字・置き字	・ 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・ 古典の文章に慣れるとともに、古文における「物語の型」を読み取る。 ・ 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。	学力テスト①
	【受け継がれる古文】 ・ 羅生門（芥川龍之介）	・ 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	中間考查
	【和歌による心の交流】 ・ 伊勢物語（歌物語）	・ 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。	
	【故事と成語】 ・ 矛盾・狐借虎威	・ 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	期末考查
二 学 期	【受け継がれる漢文】 ・ 山月記（中島 敦）	・ 中国の古典「人虎伝」を翻案した小説を読み、近代人の自意識や芸術家の苦悩について考えを深める。	学力テスト②
	【平安宮廷文学の世界】 ・ 枕草子（随筆）	・ 自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。	
	【読み継がれる歴史】 ・ 先従隗始	・ 戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。	中間考查
	【詩歌を味わう】 ・ サーカス（中原中也） I was born（吉野 弘） ・ 短歌・俳句	・ 詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。 ・ 我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。	
	【仮名日記の原点】 ・ 土佐日記	・ 女性に仮託し、仮名を用いることにより可能となった日記文学から古代の人の細やかな心情を読み取る。	期末考查
	【漢詩のことば】 ・ 漢詩	・ 表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。	
三 学 期	【「ことば」を吟味する】 ・ 舟を編む（三浦しをん）	・ 辞書を編纂する物語を通して、「ことば」の持つ力や働きについて多角的にとらえ、考えを深める。	学力テスト③
	【先人を思う旅】 ・ おくのほそ道	・ 合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。	
	【論語とその注釈】 ・ 論語	・ 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。	学年末考查